

令和6年度理療教育学校評価（自己評価） 及び令和7年度学校関係者評価に基づく検討結果

標記について、自立支援局運営方針及び令和7年度事業計画重点事項に照らして、今年度の当センターの取組を検討しました。

1. 学修成果（あはき師国家試験合格率の維持・向上に向けた取組）

全利用者を対象に、中長期的な受験対策プログラムを系統的・計画的に提供することで、あはき師国家試験合格率の維持・向上を図ります。学校関係者評価では、「国家試験の内容分析と対応策に関して、施設間の情報共有によって、課題の早期把握と対応強化を期待する」とのコメントをいただきました。今年度の取組として、昨年、策定した受験対策プログラムについて、他施設との情報・意見交換を行い、あはき師国家試験合格率のより一層の充実を図ります。具体的には、現行国家試験の受験対策において特に求められる、科目融合型、症例読解型設問の作問の効率化や指導体制等について検討を行う予定です。また、利用者の能動的学習環境の整備の一環として、デジタル教科書の導入や教官が作成したデジタル教材の本格的な活用に向けて取り組んでまいります。

2. 利用者の募集・受け入れ（利用者募集活動の推進）

学校関係者評価では、「利用者募集活動について、今後も、SNS等の活用体制の制度的整備や、個別対応力のさらなる強化が期待される」とのコメントをいただきました。今年度の取組として、訪問による対面の利用者募集活動では、機器展示会や障害者団体の行事、当事者に対する体験会や相談会など、より身近な視覚障害者を対象に、当事者自身が国家資格取得に向けた支援体制や国家資格取得後の働くイメージを持つことができるよう個別対応を意識した利用者募集活動を展開してまいります。また、非対面の利用者募集活動では、メールマガジンや広報誌の発行、WEBによる動画配信などオンラインを活用した取組を推進するとともに、SNS等を活用した発信力の強化について引き続き検討を行う予定です。

3. 利用者支援（就職率及び定着率向上に向けた取組）

利用者の就労に向けた取組として、事業所等に働きかけて職場開拓を行います。また、定着率向上に向けて、関係機関（ハローワーク、障害者職業センター）とより一層の連携を図りつつ、就労マッチング支援及び職場定着支援を本人の適性に応じて行います。学校関係者評価では、「令和6年度に作成した進路支援プログラムの有効な活用を期待する」とのコメントをいただきました。進路希望調査、進路支援（集中）講座、施術所見学、進路相談等から成る進路支援プログラムを計画的・継続的に実施します。また、利用者の主体的な進路選択を支援するため、進路希望や就労状況に関する調査項目の見直しを、理療教育指導専門職を含めて検討し調査を継続してまいります。